

北海道情報大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル） 取組概要

申請レベル：応用基礎レベル（大学等単位） 申請年度：令和7年度

プログラムの目的・身に付けられる能力

デジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事等の場で使いこなすことができる基本的要素を身に付けること、および数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAIの恩恵を享受し、これを説明・活用できることを目指します。
講義においては、知識やスキルを理解するための実習などを用意し、学生が主体的に学べるようにします。

特 色

- ① 本講義ではオムニバス方式を採用しており、5名の教員が経験に基づき複数業界の事例を具体的に解説します
- ② 画像・音楽・動画などの社会データ・MRIやCTなどの医療画像データ・音声やウェアラブルセンサーなどのパーソナルデータ等、多くの実データに触れることができる

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)

1年次	2年次	3年次	4年次
微分積分Ⅰ（経営情報・システム情報・医療情報学科対象）			*
微分積分（情報メディア学科対象）			*
情報の世界（全学科開講）		* * *	
線形代数Ⅰ（経営情報・システム情報・医療情報学科対象）			*
線形代数（情報メディア学科対象）			*
	統計学（全学科開講）		*
		BIとビッグデータⅠ（全学科開講）	*
		BIとビッグデータⅡ（全学科開講）	*
		人工知能（システム情報学科のみ開講）※	* *

※他学科の学生も履修できる制度があります。

モデルカリキュラム

- * データサイエンス基礎
- * データエンジニアリング基礎
- * AI基礎



修了要件

プログラムを構成する線形代数Ⅰ※（2単位）、微分積分Ⅰ※（2単位）、情報の世界（2単位）、統計学（2単位）、人工知能（2単位）、BIとビッグデータⅠ（2単位）、BIとビッグデータⅡ（2単位）の合計14単位を取得することを要件とします。
※情報メディア学科は「線形代数」、「微分積分」

体制・計画・点検・評価

